

編集後記

- ◆寄せられた原稿から同窓生の各方面での活躍、人材の豊富さに感服します。一方、7号の「飯田線よもやま話」のような気軽な随想も心待ちしています。(伊原)
- ◆校正で初参加です。今さらですが、執筆者のジャンルの幅広さに驚きました。また他の方の校正紙を拝見し、力不足を痛感しています。(大橋)
- ◆未曾有の新型コロナ禍で、生活も仕事も激変しました。おかげで疑り深くなってしまいましたが、ウイズコロナでいくしかありません。何か切ないですが。(大原)
- ◆コロナにより業務範囲が広がりフル稼働にて、お役に立てず大変心苦しい限りです。今年は一読者として楽しみにしております。(小澤)
- ◆コロナ禍のなか、寄稿、広告、協賛いただいた多くの方々に感謝。訳あってweb会議での作業に参加できず歯痒く感じてます。(岡田)
- ◆初めてのZoomでの編集会議、ある意味で楽しさを感じました。この状況下、編集長はじめ編集委員達の頑張りには凄いものでした。(佐々木)
- ◆約半世紀前、アングルで紹介された北原龍太郎さんのスライド上映会に参加し

新分野を、さまざまな人材を開拓して、さらに感動を広げたい!

【稲穂】第17号も、幅広い年代の同窓生の声をお届けしました。いかがでしたか? これまでの編集思想を踏襲しつつ、内容をさらに充実させていきます。

【テーマ例】

- ◆わたしの人生
仕事を通してどのような生き方をしていたかを振り返る。
- ◆いま第一線
社会人として第一線で活躍している様子と、ここに至るまでの経験を語る。
- ◆55歳のつづき
当年の在京同窓会幹事学年が担当。55歳を迎えて、考えていることは?
- ◆まだまだ現役
第一線を退いても、新しいことに挑戦しているはつらつとした人生を語る。
- ◆つながるふるさと
在京と郷里をつないで活躍する人物、またその取り組みを紹介する。
- ◆文芸の広場
短歌・俳句・川柳・五行歌他、自由詩など短い言葉に、時代や思いを乗せる。
- ◆われら同志会
在京で行われている同窓生の集まりを紹介する。
- ◆恩師の思い出
影響を受けた先生、記憶に残る教えなどを伝える。

た。留学されたバリの原風景が今回懐かしく思い出されました。(榎原)

◆今回、編集に全く貢献出来ませんでした。忸怩たる思いです。皆様に感謝し次号では頑張ります。(下島)

◆どうしてこんなに私の周りに東京の飯田高校同窓生が現れるのか? と思う最近。「キコ引力」の不思議について知りたい方は「稲穂」編集委員会まで。(下平)

◆会わずとも 会議が進む オンラインカメラの前から 動かない日々(代田)

◆新型コロナの中、自宅編集作業、オンライン会議、貴重な経験でした。皆様からの協賛広告支援に感謝、感謝です。(長沼)

◆「知徳体ちよう三育は鼎の足の三つのごと」一鼎小校歌より。ふるさと自慢の1つは3村合併で誕生

した村を「鼎」と命名した先達のセンスです。(原)

◆コロナ旋風で編集作業も一変。もはや老生は失格を覚悟。時世時節は変わるとまよ。「人生劇場」「稲穂」は美しくあれ!

(牧内)
◆編集会議後の1時間



2020年1月、第1回会議は六番町マンションにて(前列センターは高柳教授)



2020年5月からZoom編集会議が始まった

余の歓談と持ち寄ったお酒が楽しみでしたが、リモート会議となり、それができなくなりました。来年は復活できますように。(松原)

◆編集に携わることで、予期せぬ仲間との繋がりが生まれ、さらに人の輪が広がっていくのは楽しい。今の世の中、外向きの繋がりは貴重なもの。(三ツ橋)

◆Zoomで編集会議。「会わなくても作れる」ことがわかったけれど、「会ったほうがいい」こともわかった17号の制作でした。(茂木立)

◎「稲穂」の編集会議に参加しませんか? 興味のある方は、こちらまでご連絡ください。
↓ zaikyoida.tosui@gmail.com

【稲穂】第18号への寄稿のお願い

今号も大勢の方に、ご寄稿いただき、充実した誌面を作ることができました。誠にありがとうございました。ご意見、ご感想をお待ちしております。

◆第18号への随想、文芸の広場等へのご寄稿、ご投稿をよろしくお願い致します。

◆上記テーマ以外のものでも、もちろん投稿をお待ちしています!

◆「写真特集」飯田高校のいま/むかしでは、皆様の学生時代の懐かしい写真を募集しております。

【原稿送付先】

「稲穂」第18号応募原稿と明記のうえ、左記へ郵送、またはメールにて、お送りください。

〈郵送〉

〒105-0051
渋谷区千駄ヶ谷5-26-151703
(株)こんべいぶらねっと内
「稲穂」編集委員会 宛

zaikyoida.tosui@gmail.com

締切/2021年3月15日(月)

メールアドレスが
変わりました!

【稲穂】第17号

発行	在京飯田高校同窓会
	〒101-0047
	東京都千代田区内神田1-18-1
	イワカビル4F
	本島信法律事務所内
	03-5217-0666
発行日	2020(令和2)年10月1日
発行人	松原秀幸 (高19回)
編集長	下平紀代子 (高32回)
副編集長	原 誠 (高23回)
同	茂木立みどり (高36回)
特別編集委員	平田 達 (中47回)
同	牧内雪彦 (中47回)
同	佐々木康夫 (中15回)
同	伊原信夫 (高12回)
同	下島 明 (高19回)
同	大原 直 (高21回)
同	長沼 寛 (高21回)
同	三ツ橋史緒子 (高22回)
同	岡田峯明 (高25回)
同	榎原雅直 (高31回)
同	代田秀雄 (高33回)
同	小澤純子 (高43回)
同	松村尚哉 (高32回)
同	吉澤広和 (高32回)
同	大橋由香里 (高34回)
同	加納由美 (高38回)
同	市瀬裕貴 (高70回)
サポーター編集委員	酒井 崇 (高49回)
装丁設計	ペラビスタスタジオ
DTP	有限会社宮永印刷
印刷・製本	